

(11)特許出願公開番号

特開2000-23134

(P2000-23134A)

(43)公開日 平成12年1月21日(2000.1.21)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

FI

テマコード(参考)

H04N 7/16
7/08
7/081

H04N 7/16
7/08

A	5 C 0 6 3
Z	5 C 0 6 4

審査請求 有 請求項の数6 OL (全 8 頁)

(21)出願番号

特願平10-189053

(22)出願日

平成10年7月3日(1998.7.3)

(71)出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

(72)発明者 宮腰 孝弘

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三
洋電機株式会社内

(74) 代理人 100100114

弁理士 西岡 伸泰

Fターム(参考) 50063 AA20 AB01 AB05 CA23 DA07

DA13 DB02

5C064 BA07 BB10 BC06 BC16 BC20

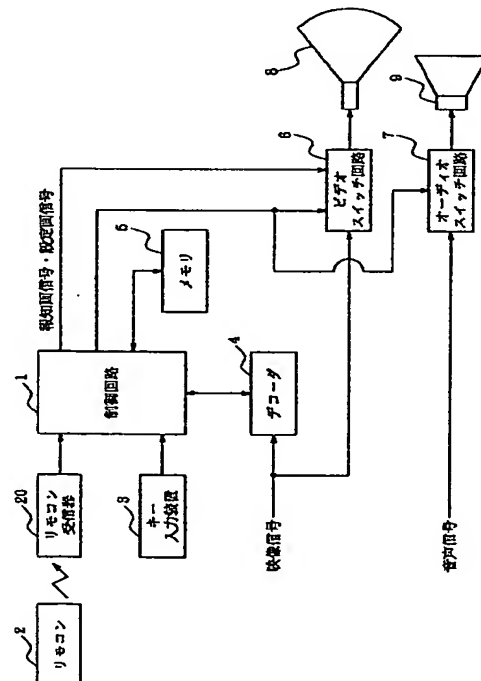
BC27 BD07 BD08 BD09

(54)【発明の名称】 番組視聴規制装置及びこれを具えたテレビジョン受像機

(57) 【要約】

【課題】 RATING情報の設定操作が容易で、然も、ユーザがRATING情報を表す記号の意味を理解していない場合であっても所望のRATING情報を設定することが出来、更に、ユーザの意図するレベルの番組の視聴を確実に禁止することが出来るテレビジョン受像機を提供する。

【解決手段】 本発明のTV受像機は、RATING情報を設定する際に操作すべき設定キーと、V-chip信号からRATING情報を抽出するデコーダ4と、ユーザにより設定されたRATING情報を記憶するためのメモリ5と、ユーザにより設定キーが押下されたとき、デコーダ4からRATING情報を読み出し、読み出したRATING情報を前記メモリ5に格納する制御回路1とを具えている。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 視聴禁止情報を設定することが可能な番組視聴規制装置であって、ユーザにより設定された視聴禁止情報を記憶するメモリ手段と、該メモリ手段に視聴禁止情報が格納されている場合に、該視聴禁止情報と番組の映像信号に含まれる視聴禁止情報とに基づき、視聴が禁止されているか否かを判断して、視聴が禁止されていると判断したときに番組の視聴を不可能とする制御手段とを具えた番組視聴規制装置において、

視聴禁止情報を設定するために操作すべき操作キーと、操作キーが操作されたとき、視聴中の番組の映像信号から視聴禁止情報を抽出し、抽出した視聴禁止情報を前記メモリ手段に格納する情報処理手段とを具えていることを特徴とする番組視聴規制装置。

【請求項 2】 視聴禁止情報の設定を解除するために操作すべき設定解除キーと、設定解除キーが操作されたとき、メモリ手段に格納されている視聴禁止情報を消去する消去手段とを具えている請求項 1 に記載の番組視聴規制装置。

【請求項 3】 指令に応じて、メモリ手段に格納されている視聴禁止情報を消去する消去手段と、番組の視聴が可能な状態で前記操作キーが操作されたとき、情報処理手段に対して視聴禁止情報の抽出及び格納を指令する一方、番組の視聴が不可能な状態で前記操作キーが操作されたとき、消去手段に対して視聴禁止情報の消去を指令する設定解除制御手段とを具えている請求項 1 に記載の番組視聴規制装置。

【請求項 4】 指令に応じて、メモリ手段に格納されている視聴禁止情報を消去する消去手段と、前記操作キーが操作される度に、情報処理手段に対して視聴禁止情報の抽出及び格納を指令する動作と、消去手段に対して視聴禁止情報の消去を指令する動作とを交互に行なう設定解除制御手段とを具えている請求項 1 に記載の番組視聴規制装置。

【請求項 5】 設定されている視聴禁止情報を表示させるために操作すべき表示キーと、表示キーが操作されたとき、メモリ手段に格納されている視聴禁止情報を視覚的に表示するための設定状況画信号を出力する画像出力手段とを具えている請求項 1 乃至請求項 4 の何れかに記載の番組視聴規制装置。

【請求項 6】 請求項 1 乃至請求項 5 の何れかに記載の番組視聴規制装置を具えているテレビジョン受像機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、視聴が禁止されているか否かの判断が可能であって、視聴が禁止されていると判断したときに番組の視聴を不可能とする番組視聴規制装置及びこれを具えたテレビジョン受像機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、北米においては、暴力や性的な描写が含まれる成人向けの TV 番組を子供が視聴することを防止するために、V-chip と称される規制が法律化されようとしている。この V-chip 規制においては、放送番組毎に、視聴を禁止すべき年齢、番組で用いられている言葉遣い等の情報が含まれる RATING と称される視聴禁止情報を、V-chip 信号としてテレビジョン放送信号の第 2 フィールドの垂直ブランキング期間中の第 21 番目の水平区間に重畳することが義務づけられる(「EIA STANDARD」EIA-608-1994 ELECTRONIC INDUSTRIES ASSOCIATION 参照)。

【0003】 上記テレビジョン放送信号の受像機においては、予め、ユーザがリモートコントローラ(以下、リモコンという)等を操作して、視聴を禁止せんとする番組の RATING 情報を設定しておけば、その後、設定した RATING 情報に対応する RATING 情報を有する番組を子供が選択したとしても、その番組の映像は画面に映し出されず、視聴が不可能となる。

【0004】 図 6 は、上記 TV 受像機において、RATING 情報を設定する際に画面に表示される RATING 情報設定画(82)を表わしている。L1～L6 及び A～F は、テレビジョン放送信号に含まれる RATING 情報を表わし、L1～L6 は視聴を禁止するレベル、A～F は視聴を禁止するカテゴリーを表わしている。レベル L1～L6 は、例えば年齢を基準として設定されており、「L2」は 14 歳以下の子供に対して視聴を禁止するレベル、「L5」は 7 歳以下の子供に対して視聴を禁止するレベルを表わし、L1 から L6 に向かって徐々に年齢が低くなっている。一方、カテゴリー A～F については、例えば「C」は暴力、「D」は言葉遣いを表わしている。ユーザは、RATING 情報を設定するに際し、まず、リモコンを操作して、図 6 に示す RATING 情報設定画(82)を画面に表示させ、更にリモコンを操作して、各カテゴリーについてレベルを選択して RATING 情報を設定する。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記従来の TV 受像機においては、ユーザは、RATING 情報を設定する際、上述の如くリモコンを複数回操作して、RATING 情報の各カテゴリーについてレベルを選択しなければならず、設定操作が煩雑である問題があった。又、上記 TV 受像機においては、テレビジョン放送信号に含まれる RATING 情報は、「L1」～「L6」及び「A」～「F」の如き記号によって表わされているため、ユーザは、前提としてそれらの記号が何を意味しているのかを理解している必要があり、これを理解していなければ、所望の RATING 情報を設定することが出来ない問題があった。更に、ユーザが、RATING 情報を表わす記号の意味を理解した上で RATING 情報を設定した場合であっても、ユーザが意図して設

定したレベルと、それによって実際に視聴が不可能となるレベルとにずれが存在することがあり、ユーザの意図するレベルの番組の視聴を確実に禁止することが出来ない問題があった。そこで本発明の目的は、上述のV-c h i p 信号に含まれるR A T I N G 情報等の視聴禁止情報の設定操作が容易で、然も、ユーザが視聴禁止情報を表わす記号の意味を理解していない場合であっても所望のR A T I N G 情報を設定することが出来、更に、ユーザの意図するレベルの番組の視聴を確実に禁止することが出来る番組視聴規制装置及びこれを具えたテレビジョン受像機を提供することである。

【0006】

【課題を解決する為の手段】本発明に係るテレビジョン受像機は、番組視聴規制装置を具え、該番組視聴規制装置は、視聴禁止情報を設定することが可能であって、ユーザにより設定された視聴禁止情報を記憶するメモリ手段と、該メモリ手段に視聴禁止情報が格納されている場合に、該視聴禁止情報と番組の映像信号に含まれる視聴禁止情報とに基づき、視聴が禁止されているか否かを判断して、視聴が禁止されていると判断したときに番組の視聴を不可能とする制御手段とを具えている。該番組視聴規制装置は、特徴的構成において、視聴禁止情報を設定するために操作すべき操作キーと、操作キーが操作されたとき、視聴中の番組の映像信号から視聴禁止情報を抽出し、抽出した視聴禁止情報を前記メモリ手段に格納する情報処理手段とを具えている。

【0007】上記番組視聴規制装置の出力端には、画像表示装置及びスピーカ装置が接続される。又、上記番組は、例えばテレビジョン放送番組であって、視聴禁止情報は、V-c h i p 信号に含まれているR A T I N G 情報である。ユーザがT V 受像機の電源スイッチをオンに設定すると、現在ユーザにより選択されている番組の映像が画像表示装置に映し出されると共に、その番組の音声スピーカ装置から出力されて、該番組の視聴が可能となる。

【0008】この状態で、ユーザが、現在視聴中の番組は視聴を禁止すべきレベルのものであると判断して、例えば操作キーを1回押下すると、情報処理手段は、これを検知して、視聴中の番組の映像信号からR A T I N G 情報を抽出し、抽出したR A T I N G 情報をメモリ手段に格納する。この様にして、R A T I N G 情報が設定されることになる。従って、ユーザは、R A T I N G 情報を設定するに際し、上述の如く操作キーを1回押下するだけでよく、設定操作が極めて容易である。又、ユーザが実際に番組を視聴して、その番組が視聴を禁止すべきレベルのものであると判断したときに操作キーを操作すれば、その番組のR A T I N G 情報が抽出されて、該R A T I N G 情報が設定されるので、ユーザは、意図するレベルのR A T I N G 情報を設定することが出来る。

【0009】上述の如くR A T I N G 情報が設定される

と、制御手段は、現在視聴中の番組は、視聴が禁止されているものであると判断して、該番組の視聴を不可能とする。その後、制御手段は、テレビジョン放送信号に含まれるR A T I N G 情報とメモリ手段に格納されているR A T I N G 情報とに基づき、視聴が禁止されているか否かの判断を繰り返し行ない、視聴が禁止されていると判断したときには番組の視聴を不可能とする一方、視聴が禁止されていないと判断したときには番組の視聴を可能とする。ここで、メモリ手段には、ユーザが実際に視聴した上で視聴を禁止すべきレベルのものであると判断した番組のR A T I N G 情報が格納されているので、ユーザが設定したレベルと、それによって視聴が不可能となるレベルにずれが存在することはなく、ユーザが視聴を禁止せんとするレベルの番組が視聴可能となることはない。

【0010】具体的には、視聴禁止情報の設定を解除するために操作すべき設定解除キーと、設定解除キーが操作されたとき、メモリ手段に格納されている視聴禁止情報を消去する消去手段とを具えている。

【0011】該具体的構成においては、ユーザが、視聴禁止情報の設定を解除すべく、例えば設定解除キーを1回押下すると、消去手段は、これを検知して、メモリ手段に格納されているR A T I N G 情報を消去する。この様にして、R A T I N G 情報の設定が解除されることになる。従って、ユーザは、R A T I N G 情報の設定を解除するに際し、設定解除キーを1回押下するだけでよく、解除手続きが極めて容易である。上述の如くR A T I N G 情報の設定が解除されると、制御手段は、番組の視聴を可能とする。

【0012】他の具体的構成においては、指令に応じて、メモリ手段に格納されている視聴禁止情報を消去する消去手段と、番組の視聴が可能な状態で前記操作キーが操作されたとき、情報処理手段に対して視聴禁止情報の抽出及び格納を指令する一方、番組の視聴が不可能な状態で前記操作キーが操作されたとき、消去手段に対して視聴禁止情報の消去を指令する設定解除制御手段とを具えている。

【0013】該具体的構成においては、画像表示装置に番組の映像が映し出されると共にスピーカ装置からその番組の音声出力されている視聴可能状態で、ユーザが操作キーを操作すると、情報処理手段は、設定解除制御手段からの指令を受けて、上述のR A T I N G 情報設定動作を開始する。一方、画像表示装置に番組の映像が映し出されておらず、スピーカ装置からその番組の音声出力されていない視聴不能状態で、ユーザが操作キーを操作すると、消去手段は、設定解除制御手段からの指令を受けて、上述のR A T I N G 情報設定解除動作を開始する。

【0014】又、他の具体的構成においては、指令に応じて、メモリ手段に格納されている視聴禁止情報を消去

する消去手段と、前記操作キーが操作される度に、情報処理手段に対して視聴禁止情報の抽出及び格納を指令する動作と、消去手段に対して視聴禁止情報の消去を指令する動作とを交互に行なう設定解除制御手段とを具えている。

【0015】該具体的構成においては、ユーザが操作キーを操作する度に、設定解除制御手段は、情報処理手段に対する指令と消去手段に対する指令とを交互に発する。これによって、情報処理手段による RATING 情報設定動作と、消去手段による RATING 情報設定解除動作とが、交互に行なわれることになる。

【0016】又、具体的には、設定されている視聴禁止情報を表示させるために操作すべき表示キーと、表示キーが操作されたとき、メモリ手段に格納されている視聴禁止情報を視覚的に表示するための設定状況画信号を出力する画像出力手段とを具えている。

【0017】該具体的構成においては、ユーザが、設定されている視聴禁止情報を表示させるべく表示キーを操作すると、画像出力手段は、これを検知して、画像表示装置に対し設定状況画信号を出力する。この結果、画像表示装置には、現在設定されている RATING 情報を表わす設定状況画が表示されることになる。この様にしてユーザは、現在の RATING 情報の設定状況を視覚的に確認することが出来る。

【0018】

【発明の効果】本発明に係る番組視聴規制装置によれば、ユーザは、視聴禁止情報を設定するに際し、例えば操作キーを 1 回押下するだけでよく、設定操作が容易である。又、ユーザは、視聴禁止情報を表わす記号の意味を理解していなくても、所望の視聴禁止情報を設定することが可能であり、更に、ユーザの意図するレベルの番組の視聴を確実に禁止することが出来る。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、本発明を、TV 受像機に実施した形態につき、2 つの実施例に基づいて具体的に説明する。

第 1 実施例

本実施例の TV 受像機は、V-chip 信号が重畳されたテレビジョン放送信号を受信するためのものであって、V-chip 信号には、図 6 に示す如く L1~L6 及び A~F からなる RATING 情報が含まれている。又、本実施例の TV 受像機においては、RATING 情報の設定及び解除が可能であると共に、RATING 情報の設定状況を表わす RATING 情報設定画を画面に表示させることが可能である。該 TV 受像機においては、チューナから得られるテレビジョン放送信号は、先ず映像信号と音声信号とに分離され、分離された映像信号は、図 1 に示す如くデコーダ(4)及びビデオスイッチ回路(6)に供給され、デコーダ(4)によって、V-chip 信号に含まれる RATING 情報が抽出される。一

方、前記分離された音声信号は、オーディオスイッチ回路(7)に供給される。

【0020】前記デコーダ(4)には、制御回路(1)が接続されており、該制御回路(1)には、リモコン(2)からのリモートコントロール信号を受信するリモコン受信器(20)、複数の操作キーを具えたキー入力装置(3)及び、フラッシュメモリ等の不揮発性のメモリ(5)が接続されている。制御回路(1)は、リモコン(2)或いはキー入力装置(3)から RATING 情報設定指令が発せられると、デコーダ(4)によって抽出された RATING 情報をメモリ(5)に格納する。又、制御回路(1)は、一定の周期で、デコーダ(4)によって抽出された RATING 情報と、メモリ(5)に格納されている RATING 情報とに基づき、ユーザにより選択された番組の視聴が禁止されているか否かを判断して、視聴が禁止されていると判断したときは、ビデオスイッチ回路(6)に対し、後述の如く視聴が禁止されている旨を画面に表示するための報知画信号を出力する。更に、制御回路(1)は、リモコン(2)或いはキー入力装置(3)から RATING 情報設定状況表示指令が発せられると、ビデオスイッチ回路(6)に対し、後述の如く RATING 情報の設定状況を画面に表示するための設定画信号を出力する。

【0021】ビデオスイッチ回路(6)及びオーディオスイッチ回路(7)は、制御回路(1)によって制御されており、ビデオスイッチ回路(6)は、チューナからの映像信号の通過を許容する第 1 切換え状態と、制御回路(1)からの報知画信号或いは設定画信号の通過を許容する第 2 切換え状態との間で切換え設定が可能である。ビデオスイッチ回路(6)は、前述の制御回路(1)による判断において、視聴が禁止されていないと判断された場合は第 1 切換え状態に設定され、これによって、チューナからの映像信号が CRT(8)に出力されることになる。これに対し、視聴が禁止されていると判断された場合は、ビデオスイッチ回路(6)は第 2 切換え状態に設定され、これによって、制御回路(1)からの報知画信号或いは設定画信号が CRT(8)に出力されることになる。一方、オーディオスイッチ回路(7)は、オン/オフ切換えが可能であり、前述の制御回路(1)による判断において、視聴が禁止されていないと判断された場合はオンに設定され、これによって、チューナからの音声信号がスピーカ(9)に出力されることになる。一方、視聴が禁止されていると判断された場合は、オーディオスイッチ回路(7)はオフに設定され、これによって、スピーカ(9)に対する音声信号の出力が停止されることになる。

【0022】図 2 は、上記制御回路(1)による番組映出の具体的手続きを表わしている。尚、該手続きは、TV 受像機の電源スイッチがオンに設定されると、一定の制御周期で繰り返し実行される。TV 受像機の電源スイッチがオンに設定されると、図示の如く、先ずステップ S1 にて、メモリ(5)から現在書き込まれている RATING

NG情報を読み出した後、ステップS2では、デコーダ(4)からユーザにより現在選択されている番組のRATING情報を読み出す。次にステップS3では、ステップS1にて読み出したRATING情報と、ステップS2にて読み出したRATING情報とに基づいて、現在選択されている番組について視聴が禁止されているか否かを判断する。ここでノー(NO)と判断された場合は、ステップS4に移行して、ビデオスイッチ回路(6)を第1切換え状態に設定すると共に、オーディオスイッチ回路(7)をオンに設定する。この結果、CRT(8)に映像信号が供給されて、現在選択されている番組の映像がCRT(8)の画面に表示されると共に、スピーカ(9)に音声信号が供給されて、現在選択されている番組の音声

がスピーカ(9)から出力され、番組の視聴が可能となる。
【0023】一方、ステップS3にてイエス(YES)と判断された場合は、ステップS5に移行し、ビデオスイッチ回路(6)を第2切換え状態に設定して、ビデオスイッチ回路(6)に対し報知画信号を出力すると共に、オーディオスイッチ回路(7)をオフに設定する。この結果、CRT(8)に報知画信号が供給されて、CRT(8)の画面(81)には図5に示す如く視聴を禁止する旨の表示が為されると共に、スピーカ(9)に対する音声信号の供給が停止されて、スピーカ(9)からの番組音声の出力が停止し、番組の視聴が不可能となる。

【0024】次に、本発明の特徴的構成であるRATING情報設定/解除手続きについて、図3に基づき具体的に説明する。尚、該手続きは、図2に示す手続きと同様に、TV受像機の電源スイッチがオンに設定されると、一定の制御周期で繰り返し実行される。又、本実施例のリモコン(2)及びキー入力装置(3)は、RATING情報を設定する際に操作すべき設定キー(図示省略)と、RATING情報の設定を解除する際に操作すべき解除キー(図示省略)を有している。又、RATING情報の設定状況を表わすRATING情報設定画を表示させる際に操作すべき確認キー(図示省略)を有している。

【0025】図3に示す如く、先ずステップS11にて、設定キーが押下されたか否かを判断する。ここでユーザが、RATING情報を設定すべく設定キーを押下すると、イエスと判断されてステップS14に移行する。ステップS14では、デコーダ(4)から現在選択されている番組のRATING情報を読み出した後、ステップS15では、ステップS14にて読み出したRATING情報をメモリ(5)に書き込んで手続きを終了する。この様にして、RATING情報が設定されることになる。

【0026】一方、ステップS11にてノーと判断された場合は、ステップS12に移行して、解除キーが押下されたか否かを判断する。ここでユーザが、現在のRATING情報の設定を解除すべく解除キーを押下すると、イエスと判断されてステップS16に移行し、メモ

リ(5)に書き込まれているRATING情報を消去して、手続きを終了する。この様にして、RATING情報の設定が解除されることになる。一方、ステップS12にてノーと判断された場合は、ステップS13に移行して、確認キーが押下されたか否かを判断する。ここでユーザが、RATING情報の設定状況を表わすRATING情報設定画を画面に表示させるべく確認キーを押下すると、イエスと判断されてステップS17に移行し、ビデオスイッチ回路(6)を第2切換え状態に設定してビデオスイッチ回路(6)に対し設定画信号を出力し、手続きを終了する。この結果、CRT(8)の画面(81)には、図6に示す如く、従来のTV受像機においてRATING情報を設定する際に表示される画像と同様のRATING情報設定画(82)が表示されることになる。

【0027】本実施例のTV受像機において、例えばカテゴリCについてレベルL1、カテゴリDについてレベルL2のRATING情報を有する番組が画面に映し出されると共に、該番組の音声はスピーカから出力されている状態で、ユーザが設定キーを押下すると、図3の手続きが繰り返し実行される過程で、ステップS11にてイエスと判断され、ステップS15にて、カテゴリCがレベルL1、カテゴリDがL2のRATING情報がメモリ(5)に書き込まれる。

【0028】そして、図2の手続きが繰り返し実行される過程で、ステップS3にて、現在画面に映し出されている番組は、視聴が禁止されていると判断され、ステップS5にて、図5に示す如く視聴が禁止されている旨が画面に表示されると共に、スピーカ(9)からの番組音声の出力が停止して、番組の視聴が不可能となる。その後、図2のステップS3では、ユーザにより選択された番組が、カテゴリCについてレベルL1のRATING情報を有するもの、及びカテゴリDについてレベルL2のRATING情報を有するものである場合のみならず、カテゴリDについてレベルL2よりも年齢制限の厳しいレベルL1のRATING情報を有するものである場合にも、視聴が禁止されていると判断されて、これらの番組の視聴が不可能となる。

【0029】本実施例のTV受像機によれば、ユーザは、RATING情報を設定するに際し、上述の如く設定キーを1回押下するだけでよく、設定操作が極めて簡単である。又、ユーザがCRT(8)の画面に映し出されている番組を視聴して、その番組が視聴を禁止すべきレベルのものであると判断したときに設定キーを押下すれば、V-chip信号から現在視聴中の番組のRATING情報が抽出され、該RATING情報が設定されるので、ユーザは、RATING情報を表わす記号、即ちL1~L6及びA~Fが夫々、何を意味しているのかを理解していないとしても、所望のRATING情報を設定することが出来る。更に、ユーザが実際に視聴した上で視聴を禁止すべきレベルのものであると判断した番組

のRATING情報が設定されているので、ユーザが設定したレベルと、それによって視聴が不可能となるレベルにずれが存在することはなく、ユーザが視聴を禁止せんとするレベルの番組が視聴可能となることはない。

【0030】その後、ユーザが解除キーを押下すると、図3のステップS12にてイエスと判断され、ステップS16にてメモリ(5)に書き込まれているRATING情報が消去される。この結果、図2のステップS3では、ノーと判断されることとなって、番組の視聴が可能となる。この様に、RATING情報の設定を解除するに際し、解除キーを1回押下するだけでよく、解除操作が極めて簡単である。又、ユーザが確認キーを押下すると、図3のステップS13にてイエスと判断され、ステップS17にて、図6に示すRATING情報設定画(82)がCRT(8)の画面(81)に表示される。ここで、RATING情報設定画(82)においては、カテゴリーCについてはレベルL1の欄に、カテゴリーDについてはレベルL1及びL2の欄にマークが付されることになる。この様にして、現在のRATING情報の設定状況を視覚的に確認することが出来る。

【0031】第2実施例

上記第1実施例のTV受像機は、RATING情報を設定するための設定キーと、RATING情報の設定を解除するための解除キーとを具えているのに対し、本実施例のTV受像機は、1つの設定／解除キーを具え、該設定／解除キーの操作によってRATING情報を設定し或いは解除することが可能である。尚、本実施例のTV受像機における信号出力部の回路構成は、図1に示す第1実施例と同一であるので、その説明は省略する。

【0032】図4は、本実施例のTV受像機におけるRATING情報設定／解除手続きを表わしている。図示の如く、先ずステップS21にて、設定／解除キーが押下されたか否かを判断する。ここでユーザが、RATING情報を設定或いは解除すべく設定／解除キーを押下すると、イエスと判断されて、ステップS23に移行する。ステップS23では、報知画信号を出力中であるか否かを判断する。ここでユーザが、現在選択されている番組がCRT(8)の画面に映し出されている状態で設定／解除キーを押下すると、ノーと判断されてステップS24に移行し、デコーダ(4)から現在選択されている番組のRATING情報を読み出した後、ステップS25にて、読み出したRATING情報をメモリ(5)に書き込んで手続きを終了する。この様にして、RATING情報が設定されることになる。

【0033】一方、ユーザが、図5に示す如く視聴が禁止されている旨がCRT(8)の画面に表示されている状態で設定／解除キーを押下すると、ステップS23にてイエスと判断されて、ステップS26に移行し、メモリ(5)に書き込まれているRATING情報を消去して手続きを終了する。この様にして、RATING情報の設

定が解除されることになる。ステップS21にてノーと判断された場合は、ステップS22に移行して、確認キーが押下されたか否かを判断する。ここでユーザが、RATING情報の設定状況を表わすRATING情報設定画を画面に表示させるべく確認キーを押下すると、イエスと判断されてステップS27に移行し、ビデオスイッチ回路(6)を第2切換え状態に設定して、ビデオスイッチ回路(6)に対し設定画信号を出力し、手続きを終了する。この結果、第1実施例と同様に、図6に示すRATING情報設定画(82)がCRT(8)の画面(81)に表示されることになる。

【0034】尚、本発明の各部構成は上記実施の形態に限らず、特許請求の範囲に記載の技術的範囲内で種々の変形が可能である。例えば、上記第2実施例においては、画面に番組の映像が映し出されている状態で設定／解除キーが押下されたときに設定手続きを実行する一方、視聴が禁止されている旨の表示が為されている状態で設定／解除キーが押下されたときに解除手続きを実行する構成を採用しているが、これに限らず、メモリ(5)にRATING情報が書き込まれていない状態で設定／解除キーが押下されたときに設定手続きを実行する一方、メモリ(5)にRATING情報が書き込まれている状態で設定／解除キーが押下されたときに解除手続きを実行する構成を採用することも可能である。又、設定／解除キーが押下される度に、設定手続きと解除手続きを交互に実行する構成を採用することも可能である。又、上記第1及び第2実施例においては、本発明をTV受像機に実施しているが、これに限らず、その他の映像機器、例えばVCR(ビデオカセットレコーダ)やビデオディスクプレーヤに実施することも可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を実施したTV受像機の信号出力部の構成を表わすブロック図である。

【図2】上記TV受像機における番組映出の手続きを表わすフローチャートである。

【図3】第1実施例のRATING情報設定／解除手続きを表わすフローチャートである。

【図4】第2実施例のRATING情報設定／解除手続きを表わすフローチャートである。

【図5】視聴が禁止されている番組が選択された際の画面を表わす図である。

【図6】RATING情報設定画を表わす図である。

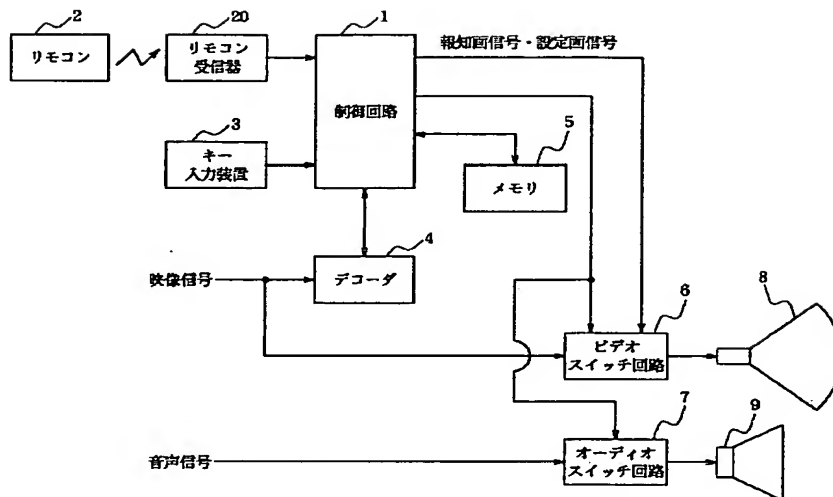
【符号の説明】

- (1) 制御回路
- (2) リモコン
- (3) キー入力装置
- (4) デコーダ
- (5) メモリ
- (6) ビデオスイッチ回路
- (7) オーディオスイッチ回路

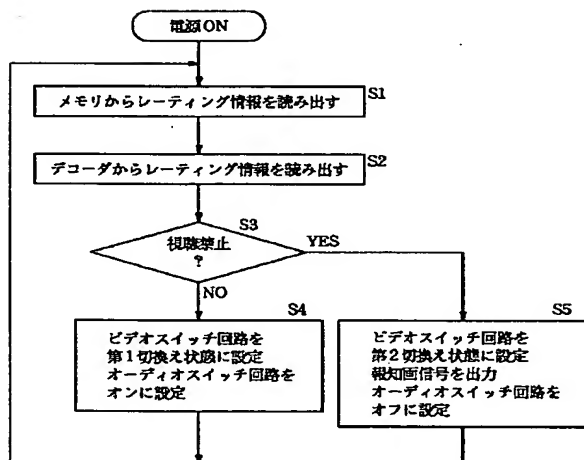
(8) CRT

(9) スピーカ

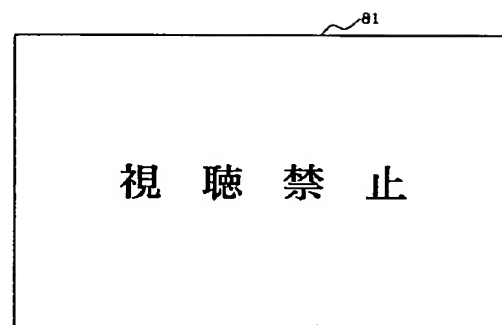
【図1】



【図2】



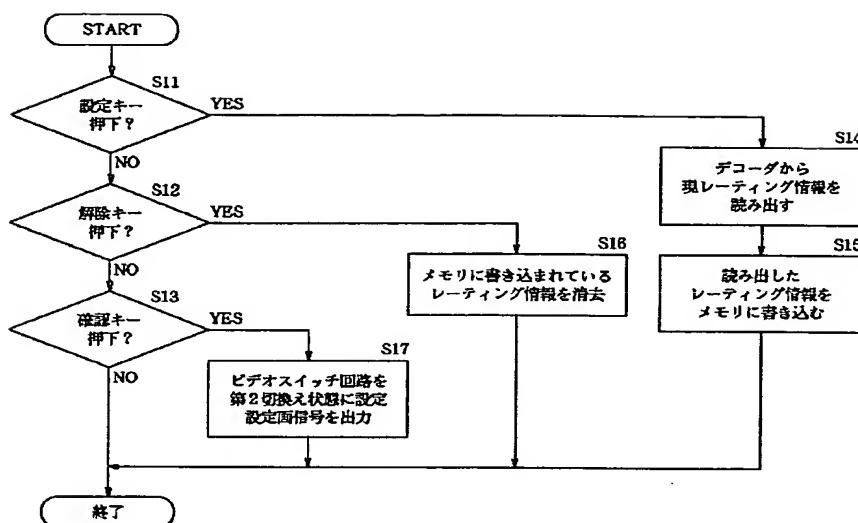
【図5】



【図6】

	A	B	C	D	E	F
L1			■	■		
L2				■		
L3						
L4						
L5						
L6						

【図3】



【図4】

